



郷育カレッジ

講座実施報告

郷育カレッジでは、地域の「ひと、もの、こと」を題材に、さまざまな分野の講座を開催しています。

講座の雰囲気を知ってもらうため、令和5年度に開催した講座のうち1つを取り上げ、講座の様子を紹介します。

「勝浦人形浄瑠璃を体験してみよう」

勝浦人形浄瑠璃保存会(以下、保存会)を講師に迎え、7月12日に市中央公民館で開催しました。

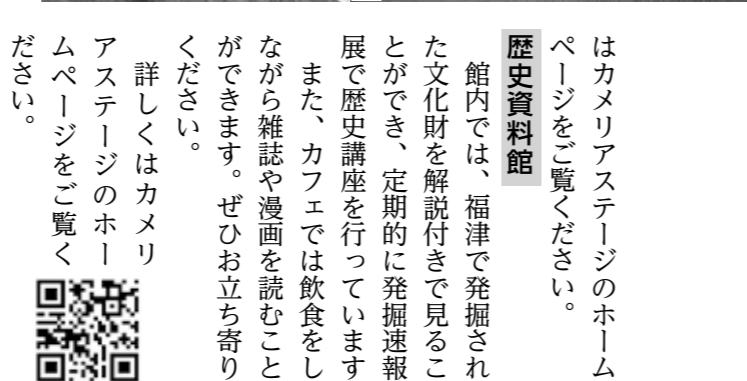
保存会による実演後、受講生は自由に人形を動かす体験をし、最後に3人で1つの人形を操り演目を披露しました。受講生からは「大変楽しい経験ができた」「演じる人によって人形の表情が変わるのが楽しい」などの感想がありました。



▲人形を操作するカレッジ生

保存会の優しいサポートもあり、人形たちも生き生きとした表情を見せ、終始和やかな雰囲気です。講座を終えることができました。

郷育カレッジの詳しい内容などについては、市公式ホームページの令和5年度郷育カレッジ一覧ページや広報ふくつ6月号に折り込んだ講座一覧をご覧ください。



①おはなし会は大人も子どもも楽しめます ②ホールは音響に定評があります ③ソファでゆっくりと本が読めます ④カフェメニューの1つ(ケーキセット)



私たちのふるさと福津。この福津という「郷」で学び、「育」つことができた。そして、地域を育てていけたら。皆さんも一緒に「郷育」に取り組んでみませんか。問い合わせ 市郷育推進課 ☎62・5078

カメラアステージの魅力を紹介!

市複合文化センター(通称カメラアステージ)は文化会館と図書・歴史資料館の複合施設です。

図書館

「子どもの声が聞こえる図書館」をコンセプトに、明るい自然光が入る滞在型の図書館です。毎月さまざまなテーマで本の紹介を行っています。親子で参加できる読み聞かせの会「おはなし会」を開催しています。親子でゆっくりとした時間を過ごしてください。

文化会館

音響効果抜群のホールでのイベントはもちろん、研修室などではヨガやコーラスなどの講座も毎週行っています。また、ワークショップなどのイベントを随時開催。詳しくはカメラアステージのホームページをご覧ください。

歴史資料館

館内では、福津で発掘された文化財を解説付きで見ることができ、定期的に発掘速報展で歴史講座を行っています。また、カフェでは飲食をしながら雑誌や漫画を読むことができます。ぜひお立ち寄りください。



心の歌

心の歌の作品を募集します。
募集期間 10月27日(金)の消印有効 ※募集期間外の応募は無効
対象 市内在住の人
応募方法 はがきに住所、氏名、電話番号、俳句・川柳・短歌の別、作品1首を記入し郵送。作品には、常用漢字を使い、すべての漢字に必ずふりがなを振ってください。1人1枚、期間ごとに1首に限る。サークルなどの団体からの一括応募は不可。必要事項の記入漏れ、応募方法以外の方法による応募は無効。掲載月などの指定はできません。
問い合わせ、送り先 〒811-3224 福津市手光2-2番地 福津市中央公民館 ☎43・2100

【短歌】
名児山の万葉古道はいと険し 郎女のうた吟じつつ往く
高武 志加子
万葉を想い出させし古き寺 紫陽花誇りてしばし佇む
岩藤 廣子

7月の囲碁・将棋会

※上位者のみ掲載、敬称略

福津市将棋同好会	1位 A 春日 久行 中橋 一夫 B 宮崎 福雄 安波 寛 C 佐野 五郎 川上四男美	2位 村上良明 ☎080-3973-8932
福津市囲碁会	1位 有山 伸司 今丸 溟 2 吉田 幸博 的野 信行 3 井本 雅文 富永 直邦 4 太田 隆晴 森北 新吉	連絡先 井本雅文 ☎090-9796-1099
福津市実年囲碁会	1位 有山 伸司 吉田 哲雄 2 猪俣 征雄 宮崎 良一 3 井本 雅文 佐藤 辰夫 4 森山 英明 中島 賢明 5 相部 清人 山本 正三 6 白石 尚史 肥高 勲	連絡先 満生忠雄 ☎090-5720-2466
津屋崎囲碁会	1位 A 藤井 修 猪俣 征雄 B 井本 雅文 林田 健介	連絡先 井本雅文 ☎090-9796-1099

市内で活動する、文化・芸術に関わる人たちの情報コーナーです。問い合わせ 市中央公民館 ☎43・2100

文化・芸術のひろば

親子野外活動支援事業の紹介



▲干潮時は多くの生き物を見つけられます

毎年、さまざまな親子の体験活動を企画しており、5~7月に「山の専門家といっしょに宮地岳・在自山に登ろう!」「海の生き物かんさつ」「里山の生き物かんさつ」を実施しました。どの活動も、知ってはいるけれど行く機会がないと思われがちな場所(宮地岳自然歩道・ほたるの里など)で開催して、改めて参加者に福津の自然の良さを実感してもらえました。今後も工作や伝統文化に触れる活動などの開催を予定しています。



▲笑顔で撮影に応じる日本と韓国の小・中学生

韓国や中国の小・中学生のバスケットボールチームが日本を訪れ、福津の子どもたちと交流試合を行いました。文化の違いや一回り大きな体格に戸惑う様子も見られましたが、試合の終わりには笑顔で握手を交わしていました。日本側の代表者に交流の意図を聞くと「文化の違いや体格の違いをお互いに学び、大人になったときの思い出になれば」と話していました。詳しくは市郷育推進課公式フェイスブックをご覧ください。

スポーツを「楽しむ」「楽しむ」「楽しむ」

韓国・中国と「交流バスケット」を行いました